



2022年 6月13日
神島化学工業株式会社
代表取締役社長 池田和夫
(証券コード:4026)

2022年4月期 決算説明資料

～決算概要及び中期経営計画～



I	2022年4月期 業績	2	III	中期経営計画(ローリング) —2023年4月期～2025年4月期	13
	1. 業績概要	3		1. 計画概要	14
	2. 営業利益分析	4		2. 2023年4月期～2025年4月期 業績計画	15
	3. セグメント別業績	5		3. 2023年4月期 業績予想	16
	4. 財政状態	7		4. 化成品事業：マグネシウム	17
	5. キャッシュ・フローの状況	8		5. 化成品事業：セラミックス	19
II	中期経営計画レビュー —2020年4月期～2022年4月期	9		6. 窯業系建材事業	21
	1. 中期経営計画 (2020年4月期～2022年4月期) レビュー	10		7. ユニークなビジネスモデルによる 炭素の固定化と資源循環型商品の提供	23
	2. 営業利益分析 —コロナ禍前との比較(1・3年目比較)	12	IV	株主還元	24
				1. 株主還元	25
			V	補足資料	26
				1. 当社について	27
				2. 環境への取組み	38

注意事項

本資料には、神島化学工業の業績に関して、歴史的事実および将来の見通しが含まれています。これらの見通しは将来の業績を完全に見通したものであるとは限らず、将来の業績に影響を与えるリスクや不確実な要素が含まれており、実際の業績は様々な要素によりこれらの見通しとは異なることがあります。

I 2022年4月期 業績



I-1.業績概要

(単位:百万円)

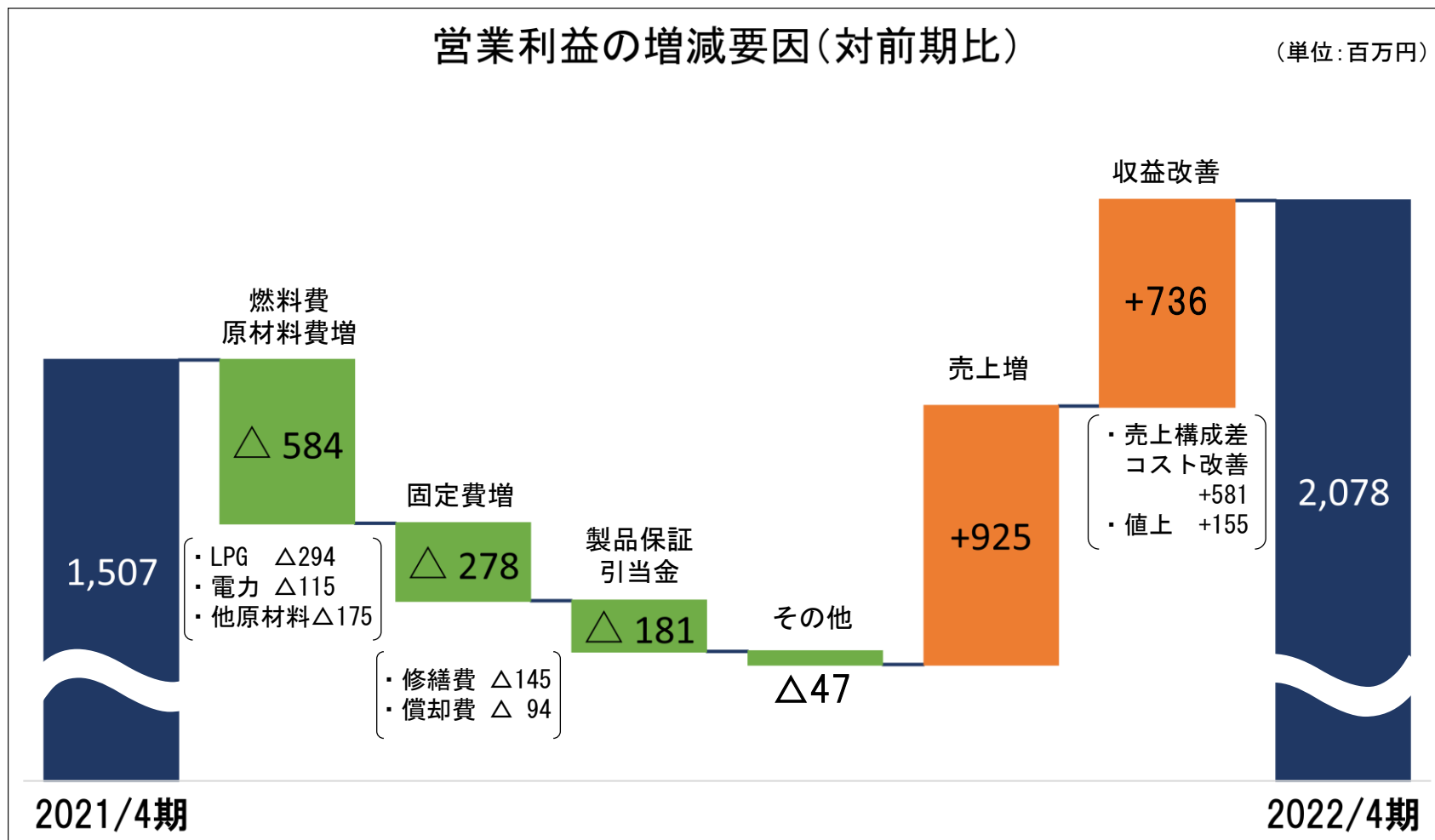
	2021/4期 通期実績	2022/4期 通期実績	前期比		2022/4期 通期予想(※2)	予想比	
			増減金額	増減率		増減金額	達成率
売上高	19,784	21,787	+2,002	+10.1%	21,200	+587	102.8%
建材	12,163	13,395	+1,231	+10.1%	13,200	+195	101.5%
化成品	7,620	8,391	+771	+10.1%	8,000	+391	104.9%
マグネシウム	6,765	7,415	+650	+9.6%	7,070	+345	104.9%
セラミックス	855	976	+120	+14.1%	930	+46	104.9%
営業利益	1,507	2,078	+570	+37.9%	2,300	△221	90.4%
建材(※1)	557	1,007	+450	+80.8%	1,200	△192	84.0%
化成品(※1)	1,462	1,660	+197	+13.5%	1,735	△74	95.7%
経常利益	1,562	2,084	+521	+33.4%	2,300	△215	90.6%
(経常利益率)	(7.9%)	(9.6%)	—	—	(10.8%)	—	—
純利益	1,088	1,365	+276	+25.4%	1,500	△134	91.0%
減価償却費	985	1,079	+94	+9.6%	1,090	△10	99.0%

※1 建材・化成品の営業利益は、全社費用調整前金額で表示

※2 公表日2021年12月3日

- ◇ 売上高は建材事業 (+10.1%)、化成品事業のマグネシウム (+9.6%)、セラミックス (+14.1%) とともに増収
- ◇ 営業利益は、建材事業 (+80.8%)、化成品事業 (+13.5%) と大幅な増益

I-2. 営業利益分析



- ◇ 営業利益は、燃料費・原材料費や固定費の増加があったものの、売上増加と高付加価値化による売上構成差・コスト改善や値上等の収益改善効果により、大幅な増加

I-3.セグメント別業績【窯業系建材事業】

(単位:百万円)

	2021/4期 通期実績	2022/4期 通期実績	前期比		2022/4期 通期予想(※)	予想比	
			増減金額	増減率		増減金額	達成率
売上高	12,163	13,395	+1,231	+10.1%	13,200	+195	101.5%
住宅	9,710	10,742	+1,032	+10.6%	10,400	+342	103.3%
高級軒天ボード	2,129	2,734	+604	+28.4%	—	—	—
(高級軒天比率)	(17.5%)	(20.4%)	—	—	—	—	—
非住宅	2,453	2,652	+199	+8.1%	2,800	△147	94.7%
(非住宅比率)	(20.2%)	(19.8%)	—	—	(21.2%)	—	—
セグメント利益	557	1,007	+450	+80.8%	1,200	△192	84.0%

(参考)

(単位:万戸)

※ 公表日2021年12月3日

新設住宅着工戸数	81.2	86.5	+5.3	+6.6%
----------	------	------	------	-------

- ◇ 売上高は、注力製品である住宅用高級軒天ボードの伸び (+28.4%) が寄与し、増収
- ◇ 非住宅分野では、高層ビル用耐火パネルの好調により増収
- ◇ セグメント利益は、燃料費・原材料の負担や製品保証引当金の増加があったものの、高付加価値製品（高級軒天ボード）の拡販や各種コスト削減により、大幅増益 (+80.8%)

I-3.セグメント別業績【化成品事業】

(単位:百万円)

	2021/4期 通期実績	2022/4期 通期実績	前期比		2022/4期 通期予想(※)	予想比	
			増減金額	増減率		増減金額	達成率
売上高	7,620	8,391	+771	+10.1%	8,000	+391	104.9%
マグネシウム	6,765	7,415	+650	+9.6%	7,070	+345	104.9%
国内	3,539	3,810	+271	+7.7%	3,691	+119	103.2%
海外	3,225	3,605	+379	+11.8%	3,378	+226	106.7%
(海外比率)	(47.7%)	(48.6%)	—	—	(47.8%)	—	—
セラミックス	855	976	+120	+14.1%	930	+46	104.9%
セグメント利益	1,462	1,660	+197	+13.5%	1,735	△74	95.7%

※ 公表日2021年12月3日

- ◇ マグネシウムは、前期に新型コロナウイルスの影響を受けた自動車等工業用製品の受注回復に伴い、難燃水酸化マグネシウムの販売量が増加、また、海外の健康関連のサプリメント需要好調により酸化マグネシウムの販売量が増加し、増収
- ◇ セラミックスは、蛍光体を中心に大幅な増収 (+14.1%)
- ◇ セグメント利益は、燃料費・原材料費の負担増加があったものの、高利益率のマグネシウム製品・セラミックス製品の拡販により増益

I -4.財政状態

(単位:百万円)

	2021/4期 期末	2022/4期 期末	前期末比
現金及び預金	967	1,871	+904
売上債権	3,857	4,618	+760
棚卸資産	3,221	3,729	+508
建物、機械装置等	6,928	10,243	+3,314
資産計	18,602	24,697	+6,094
仕入債務	2,464	3,528	+1,064
借入金	2,999	4,840	+1,841
負債計	10,062	15,331	+5,269
純資産計	8,540	9,365	+825
負債・純資産計	18,602	24,697	+6,094
(自己資本比率)	45.6%	37.7%	△8.0%

I -5. キャッシュ・フローの状況

(単位: 百万円)

	2021/4期 期末	2022/4期 期末
1. 営業活動によるキャッシュ・フロー	3,013	2,057
実質営業キャッシュ・フロー ※	2,509	2,984
運転資金キャッシュ・フロー ※	647	△204
2. 投資活動によるキャッシュ・フロー	△1,139	△2,372
固定資産の取得	△1,182	△2,402
3. 財務活動によるキャッシュ・フロー	△2,346	1,219
借入金純増減(減: △)	△2,107	1,841
配当金の支払	△183	△345
4. 現金・現金同等物増減(減: △)	△473	904
5. 現金・現金同等物当期末残高	967	1,871

※ 実質営業キャッシュ・フロー = 税引前当期純利益 + 減価償却費

※ 運転資金キャッシュ・フロー = 売上債権増減 + 棚卸資産増減 - 仕入債務増減

Ⅱ 中期経営計画 レビュー

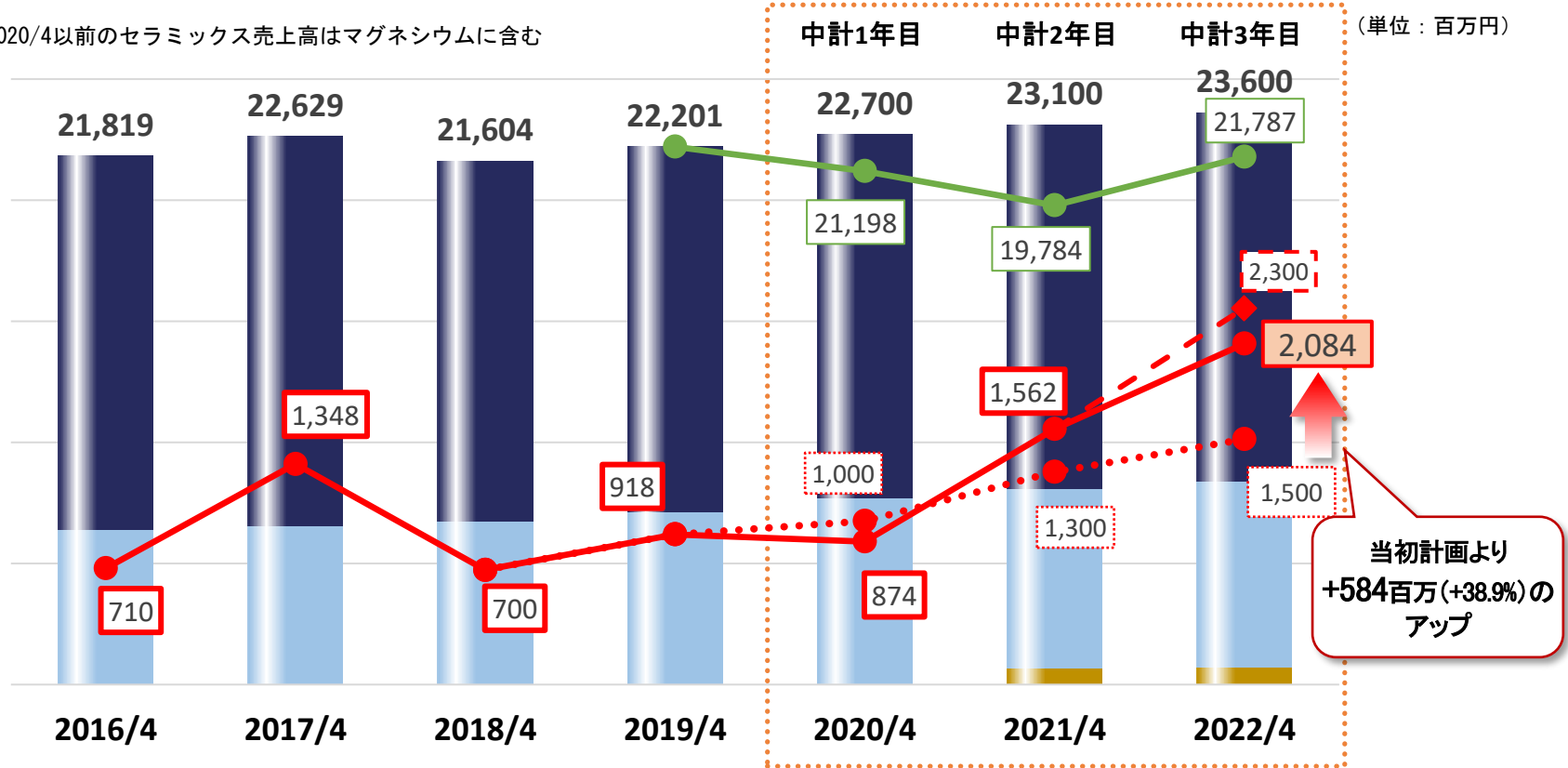
—2020年4月期～2022年4月期

KONOSHIMA

Ⅱ-1.中期経営計画(2020年4月期～2022年4月期)レビュー

■ 売上高 (化成品:セラミックス)
 ■ 売上高 (化成品:マグネシウム)
 ■ 売上高 (建材)
 ● 売上高
 ● 経常利益 [当初計画]
 ● 経常利益 [修正計画]
 ● 経常利益 [実績]

※2020/4以前のセラミックス売上高はマグネシウムに含む



当初計画より
+584百万(+38.9%)の
アップ

経常利益率	3.3%	6.0%	3.2%	4.1%	4.1%	7.9%	9.6%
自己資本比率	29.1%	33.5%	34.8%	36.4%	39.4%	45.6%	37.7%
総資産	18,936	19,217	19,393	19,611	19,082	18,602	24,697
純資産	5,515	6,446	6,757	7,159	7,552	8,540	9,365
設備投資額	1,423	1,646	1,219	1,254	933	1,685	4,522

Ⅱ-1.中期経営計画(2020年4月期～2022年4月期)レビュー

中期経営計画 基本戦略

- ① 建材事業から化成品事業への業態変換
- ② セラミックス事業の本格的事業化
- ③ 住宅から非住宅へのエネルギーシフト
- ④ 住宅分野は、高級化路線

新型コロナウイルス 流行前

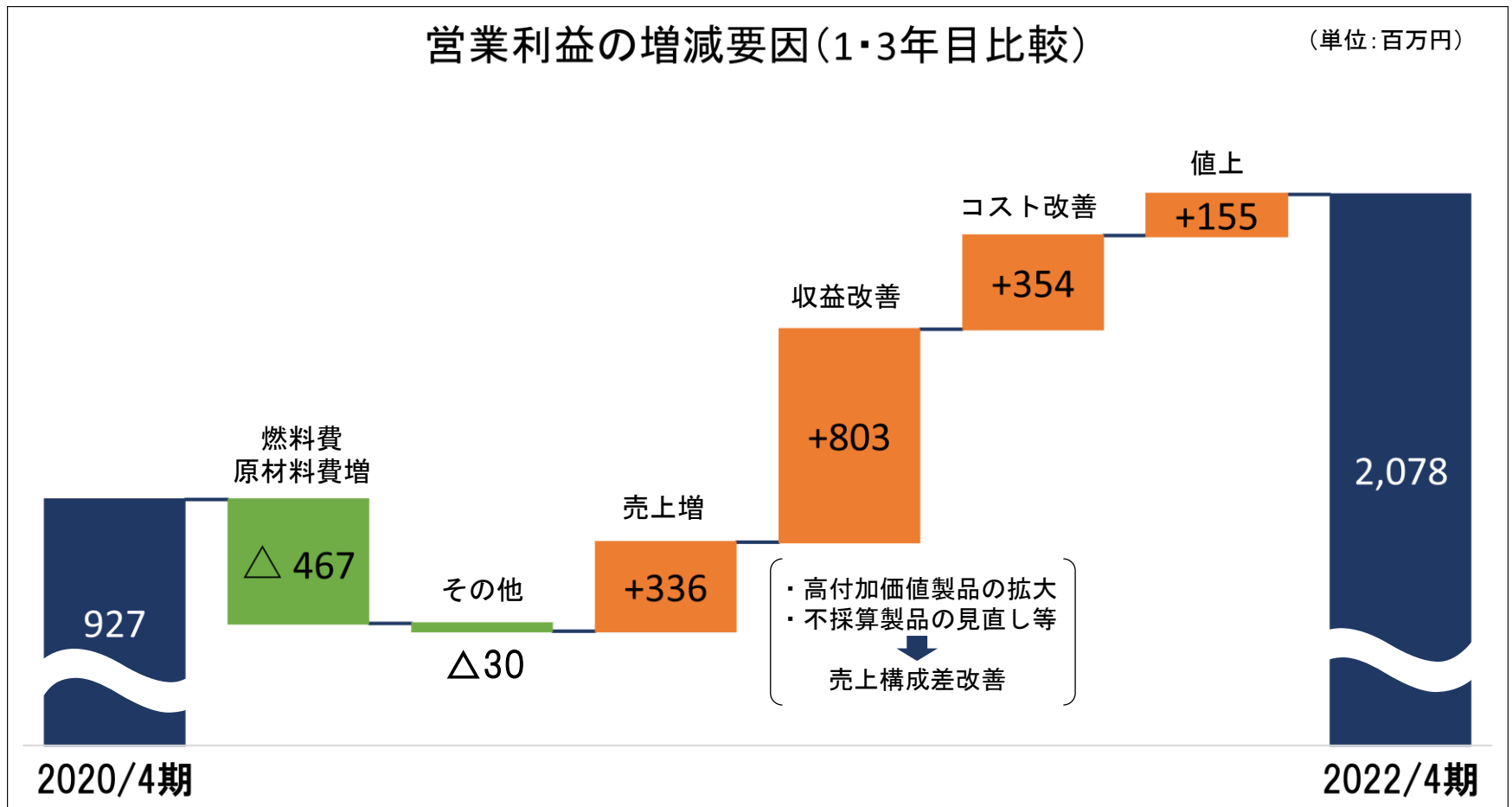
新型コロナウイルス流行

(単位:百万円)

	1年目 2020年4月期			2年目 2021年4月期			3年目 2022年4月期			コロナ2年間の 増減	
	計画	通期実績 (A)	達成率	計画	通期実績	達成率	修正計画	通期実績 (B)	達成率	増減金額 (B-A)	増減率 (B-A)/A
売上高	22,700	21,198	93.4%	23,100	19,784	85.6%	21,200	21,787	102.8%	+588	+2.8%
建材	15,000	13,680	91.2%	15,000	12,163	81.1%	13,200	13,395	101.5%	△285	△2.1%
(うち、非住宅)	3,150	2,722	86.5%	3,300	2,453	74.3%	2,800	2,652	94.7%	△70	△2.6%
化成品	7,700	7,517	97.6%	8,100	7,620	94.1%	8,000	8,391	104.9%	+873	+11.6%
(海外比率)	—	(41.3%)	—	—	(43.4%)	—	(44.0%)	(44.7%)	—	—	—
マグネシウム	—	6,871	—	7,440	6,765	90.9%	7,070	7,415	104.9%	+544	+7.9%
セラミックス	—	646	—	660	855	129.6%	930	976	104.9%	+329	+51.0%
営業利益	—	927	—	—	1,507	—	2,300	2,078	90.4%	+1,150	+124.1%
経常利益	1,000	874	87.4%	1,300	1,562	120.2%	2,300	2,084	90.6%	+1,210	+138.5%
(経常利益率)	(4.4%)	(4.1%)	—	(5.6%)	(7.9%)	—	(10.8%)	(9.6%)	—	—	—

◇ コロナ禍前と比較し売上高は微増収であるが、既存事業の大幅な収益増

Ⅱ-2. 営業利益分析—コロナ禍前との比較(1・3年目比較)



- ◇ 営業利益は燃料費・原材料費の増加があったものの、高付加価値製品の拡販などによる収益改善やコスト改善・値上により、大幅な収益力アップ

Ⅲ 中期経営計画(ローリング)

—2023年4月期～2025年4月期



・ 2023年4月期～2025年4月期 の経営戦略

(1) 基本方針

- ・ 旺盛な需要に対応した設備投資の拡大と持続的成長モデルの構築
- ・ 技術志向を高めた「ハイエンド商品の追求」と「収益の極大化」

(2) 基本戦略

- ① 化成品事業の海外市場拡大と高付加価値化
- ② オンリーワン / セラミックス事業の本格的事業化
- ③ 基材と塗装技術の強みを生かした、独自性のある建材商品の追求
- ④ ユニークなビジネスモデルによる炭素の固定化と資源循環型商品の提供

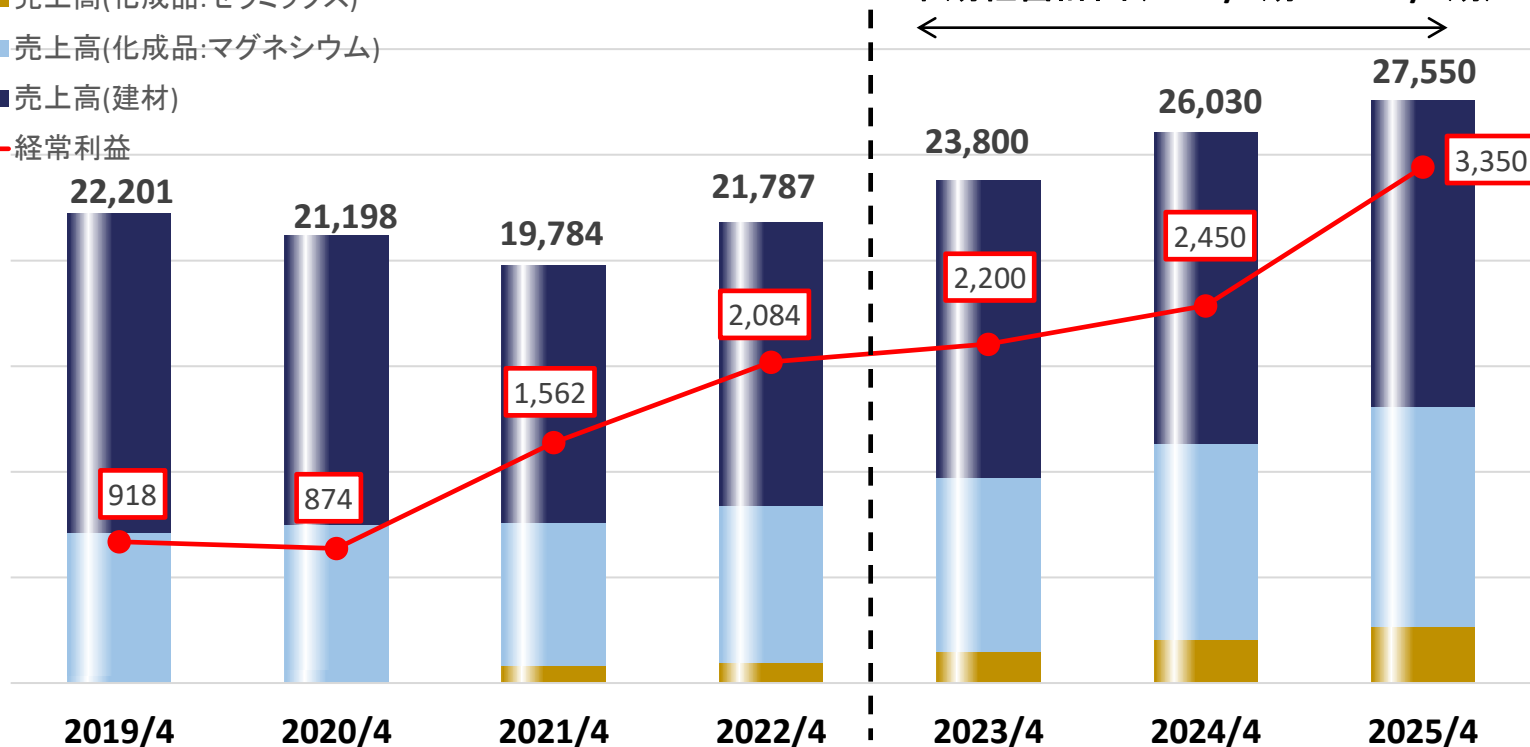
Ⅲ-2. 2023年4月期～2025年4月期 業績計画

※2020/4以前のセラミックス売上高はマグネシウムを含む

(単位：百万円)

- 売上高(化成品:セラミックス)
- 売上高(化成品:マグネシウム)
- 売上高(建材)
- 経常利益

中期経営計画(2023/4期～2025/4期)

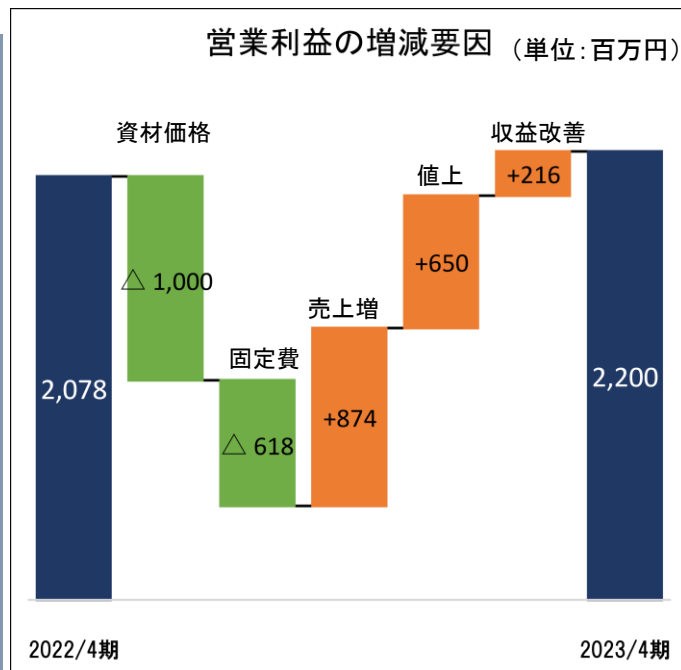


経常利益率	4.1%	4.1%	7.9%	9.6%	9.2%	9.4%	12.2%
自己資本比率	36.4%	39.4%	45.6%	37.7%	36.8%	40.4%	48.0%
総資産	19,611	19,082	18,602	24,697	28,700	29,500	28,800
純資産	7,159	7,552	8,540	9,365	10,607	11,970	13,874
設備投資額	1,254	933	1,685	4,522	6,360	1,800	480

Ⅲ-3. 2023年4月期 業績予想

(単位:百万円)

	2022/4期 通期実績		2023/4期 通期予想		通期予想実績比	
	上期	上期	上期	上期	金額	増減率
売上高	21,787	10,377	23,800	11,600	+2,012	+9.2%
建材	13,395	6,483	14,080	6,800	+684	+5.1%
化成品	8,391	3,894	9,720	4,800	+1,328	+15.8%
マグネシウム	7,415	3,472	8,240	4,100	+824	+11.1%
セラミックス	976	421	1,480	700	+503	+51.6%
営業利益	2,078	1,146	2,200	1,050	+121	+5.9%
経常利益	2,084	1,155	2,200	1,050	+115	+5.5%
(経常利益率)	(9.6%)	(11.1%)	(9.2%)	(9.1%)	—	—
当期(四半期)純利益	1,365	753	1,500	700	+134	+9.8%
減価償却費	1,079	524	1,340	632	+260	+24.2%
設備投資額	4,522	1,514	6,360	1,890	+1,843	+40.8%
配当(円/株)	36	18	40	20	+4	+11.1%
(配当性向)	(23.9%)	(21.6%)	(24.1%)	(25.8%)	—	—



(2023/4期
前提)

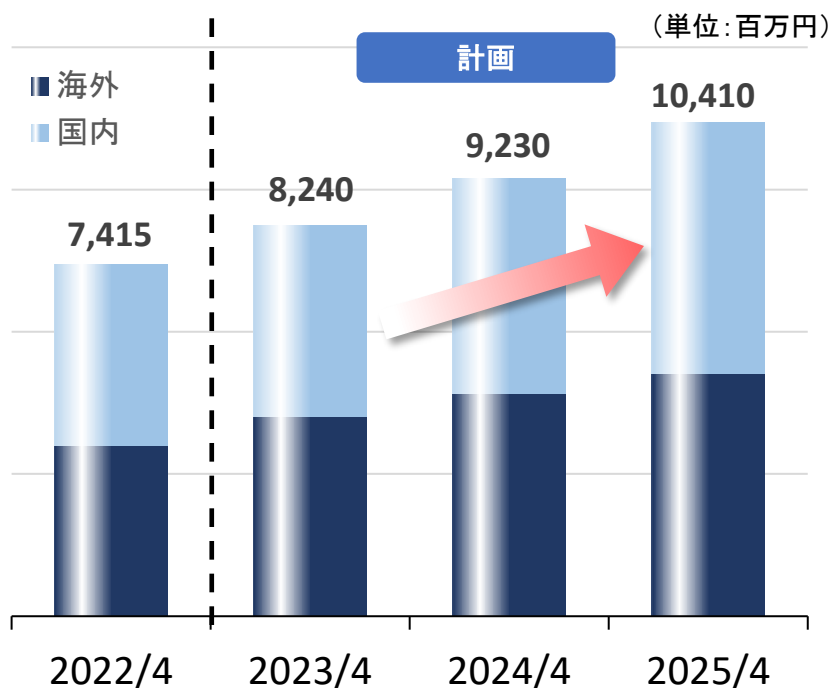
項目	数値	単位
為替	117	円/\$
WTI	95	\$/バレル

- ◇ 建材は、非住宅向け都市型高層ビル用の耐火パネル・住宅向けサイディング拡販により増収
- ◇ 化成品は、顆粒設備稼働による酸化マグネシウム販売増により増収
- ◇ 損益面では、大幅な資材価格高騰影響を受けるも、売上増、値上、収益改善により増益見込

Ⅲ-4.化成品事業：マグネシウム

①化成品事業(マグネシウム) 中期経営計画(2023/4期～2025/4期)

化成品事業(マグネシウム)売上高



中期経営計画(2023/4期～2025/4期) 重点項目

■ 大型設備投資による売上増

- ・2022/4 酸化マグネシウム顆粒設備 完成(13億円)
- ・2023/春以降 酸化マグネシウム、難燃水酸化マグネシウム増産設備 完成予定 (53億円)

(内訳 酸化マグネシウム 27億円
難燃水酸化マグネシウム26億円)

■ 高機能・高付加価値の新製品開発

- ・高機能粒子製品
- ・市場の環境対策(EVほか)に対応した製品開発



売上高全体に占めるマグネシウム売上高比率

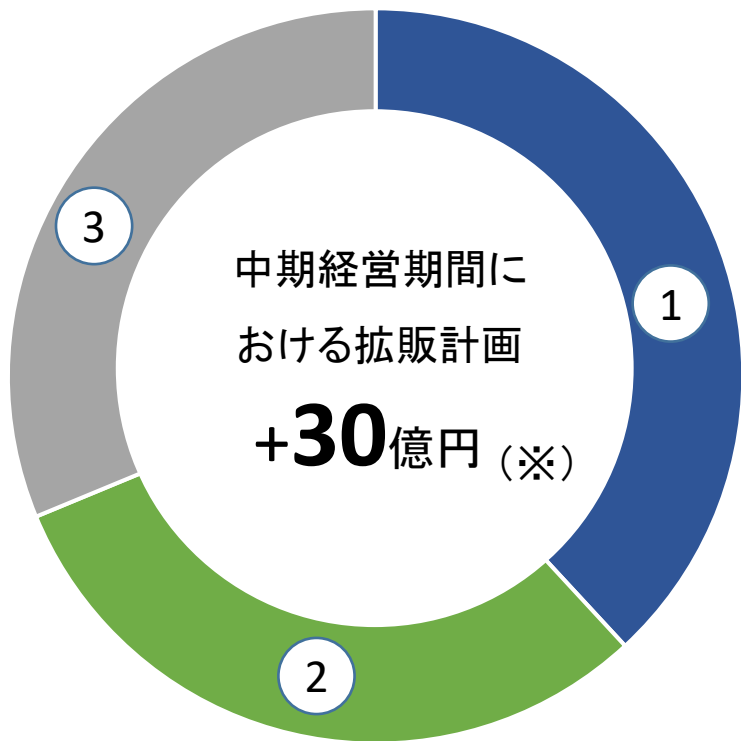
2022/4 (実績)	2023/4 (計画)	2024/4 (計画)	2025/4 (計画)
34%	35%	35%	38%

Ⅲ-4.化成品事業：マグネシウム

②化成品事業(マグネシウム) 中期経営計画(2023/4期～2025/4期)取組み

前期からの大型設備投資による拡販

製品別拡販計画



① 酸化マグネシウム 顆粒

- ・輸出向け顆粒(ミネラルサプリ用)
- ・医薬用顆粒(緩下剤用)

② 酸化マグネシウム 増設

- ・輸出向けパウダー(マルチサプリ用)
- ・医薬向けパウダー(緩下剤用)
- ・輸出工業用(プラスチック、合成ゴム等)

③ 難燃水酸化マグネシウム 増設

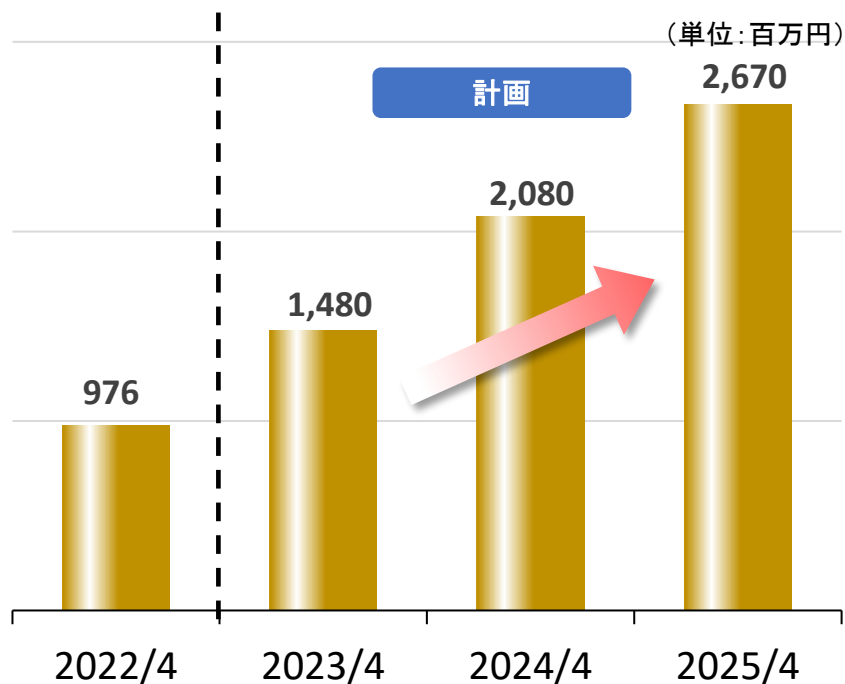
- ・工業用(自動車電線向け他)

(※)2022/4期実績比での2025/4期見込み

Ⅲ-5.化成品事業：セラミックス

①化成品事業（セラミックス） 中期経営計画（2023/4期～2025/4期）

化成品事業（セラミックス）売上高



売上高全体に占めるセラミックス売上高比率

2022/4 (実績)	2023/4 (計画)	2024/4 (計画)	2025/4 (計画)
4.5%	6.2%	8.0%	9.7%

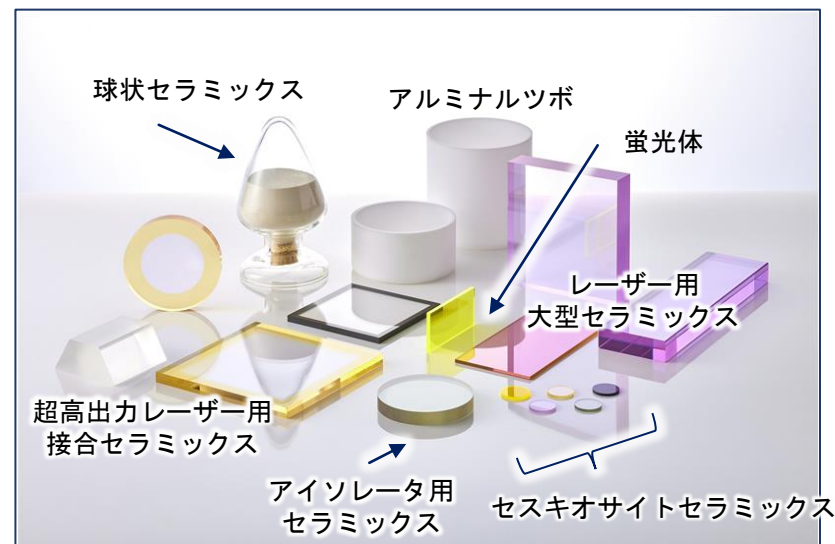
中期経営計画（2023/4期～2025/4期）重点項目

■ 23億円の設備投資

・新工場建屋完成により2022/3月より順次稼働開始

■ 大幅な需要拡大に対応した生産体制の構築

■ 研究開発を進めてきた「大型レーザー結晶」や「プロジェクター用蛍光体」の展開

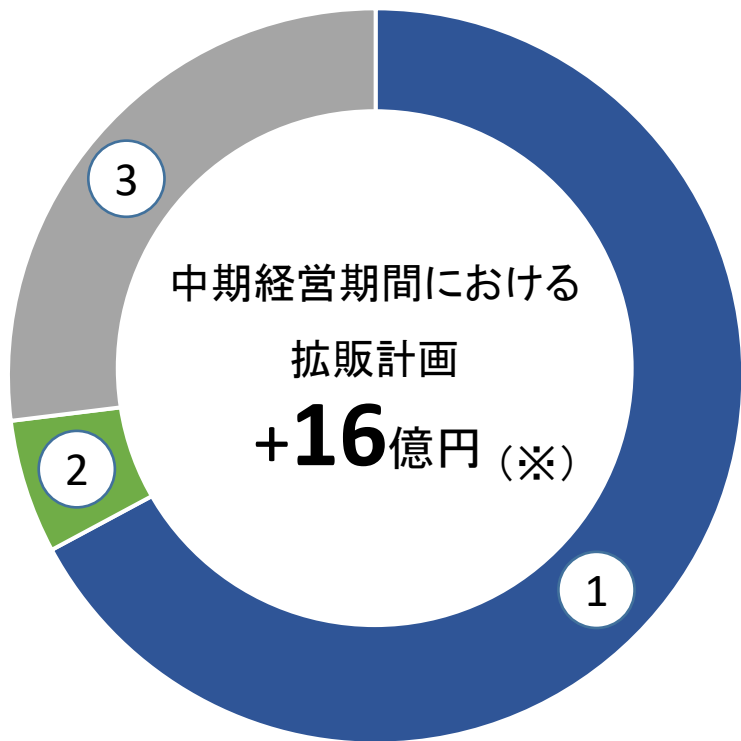


Ⅲ-5.化成品事業：セラミックス

②化成品事業（セラミックス） 中期経営計画（2023/4期～2025/4期）取組み

新工場の本格稼働による製品拡販

製品別拡販計画



① 蛍光体

- ・車載用途蛍光板増加
- ・プロジェクター用途「LED用蛍光体」販売開始

② 蓄冷材

- ・MRI用途向けに堅調に推移

③ レーザー 他

- ・「大出力レーザー」の本格展開

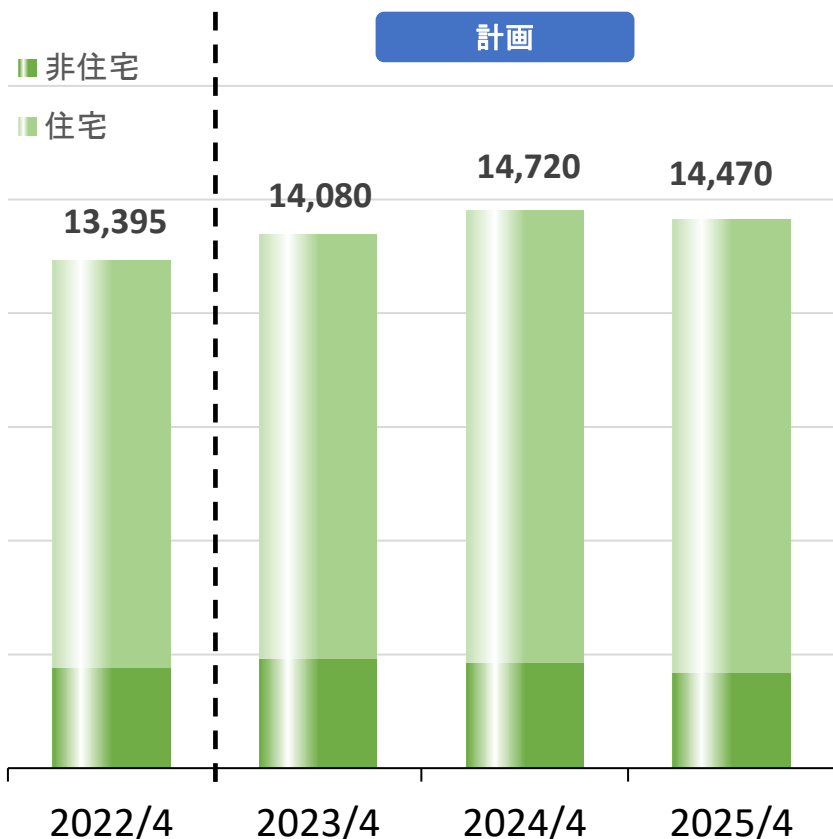
(※) 2022/4期実績比での2025/4期見込み

Ⅲ-6.窯業系建材事業

①建材事業 中期経営計画(2023/4期～2025/4期)

建材事業売上高

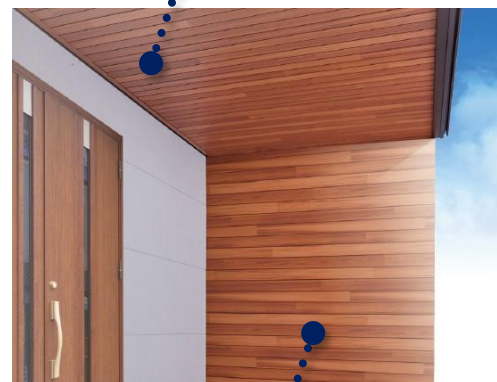
(単位:百万円)



中期経営計画(2023/4期～2025/4期) 重点項目

- 高付加価値商品の高級軒天ボードに注力
- サイディングも、高級軒天ボードと意匠統一化、高付加価値化
- 更なる製品バリエーションの拡充
(外部造作材の高級印刷品)

DRESSE PREMIUM 『アルテザート』(軒天井ボード)
(ドレッセプレミアム)



『アルテミュール』(サイディング)

DRESSE CUSTOMIZE
(ドレッセカスタマイズ)

②建材事業 中期経営計画(2023/4期～2025/4期)取組み

当社の強み

基材の強み

- ・湿度や温度等による変形やゆがみが小さい
- ・最低限の補修部で施工ができ、高意匠品向き



強みを生かす戦略

「基材の強み」 × 「塗装技術」 = 高付加価値製品

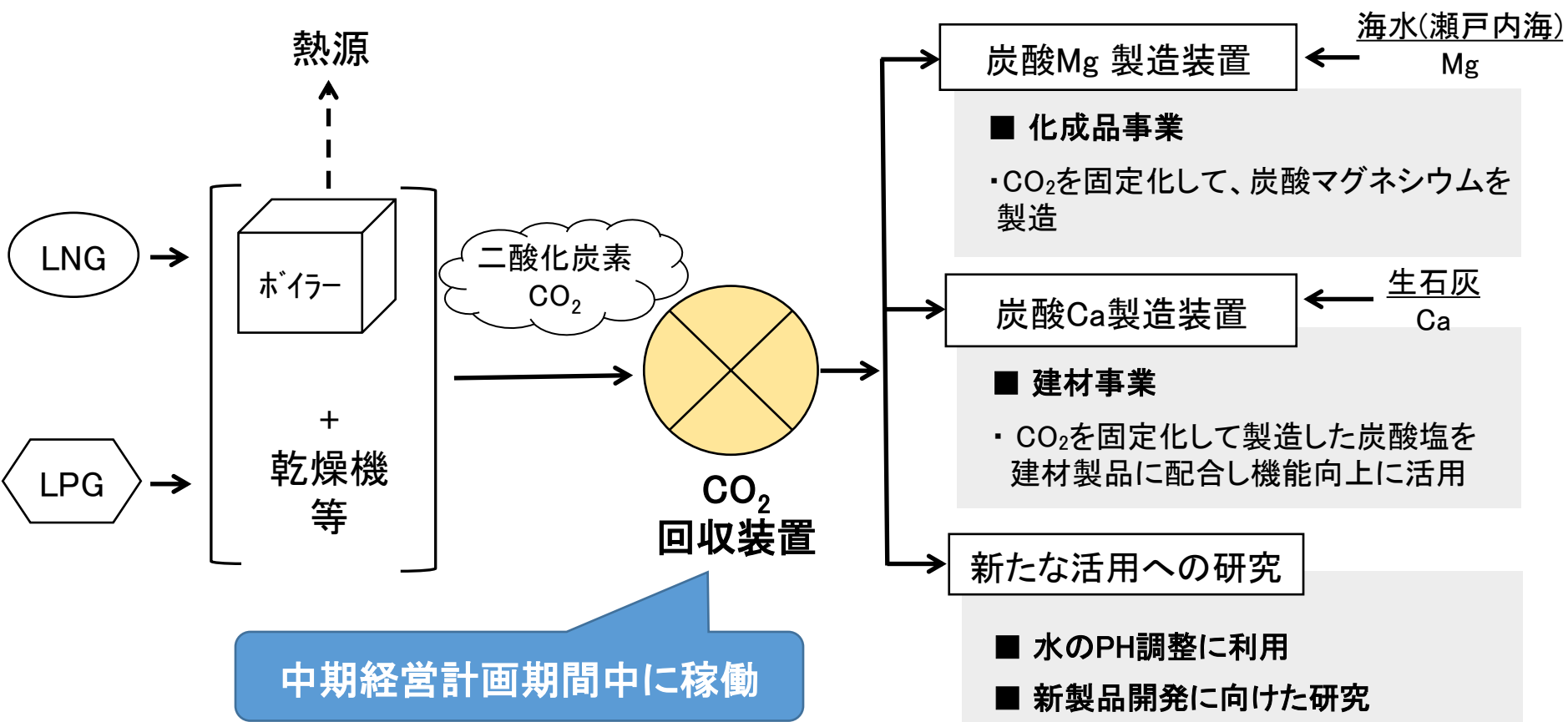
- ・高級軒天ボード「アルテザート」
- ・サイディング「アルテミュール」(軒天ボードと同一意匠の仕上げ)



Ⅲ-7.ユニークなビジネスモデルによる 炭素の固定化と資源循環型商品の提供

工場で使用しているLNGやLPG由来の二酸化炭素を回収し、製品への利用や新たな活用
余地の研究などを進めていきます

CO₂回収フロー図



中期経営計画期間中に稼働

Project 2030グループを発足

IV 株主還元



IV-1.株主還元

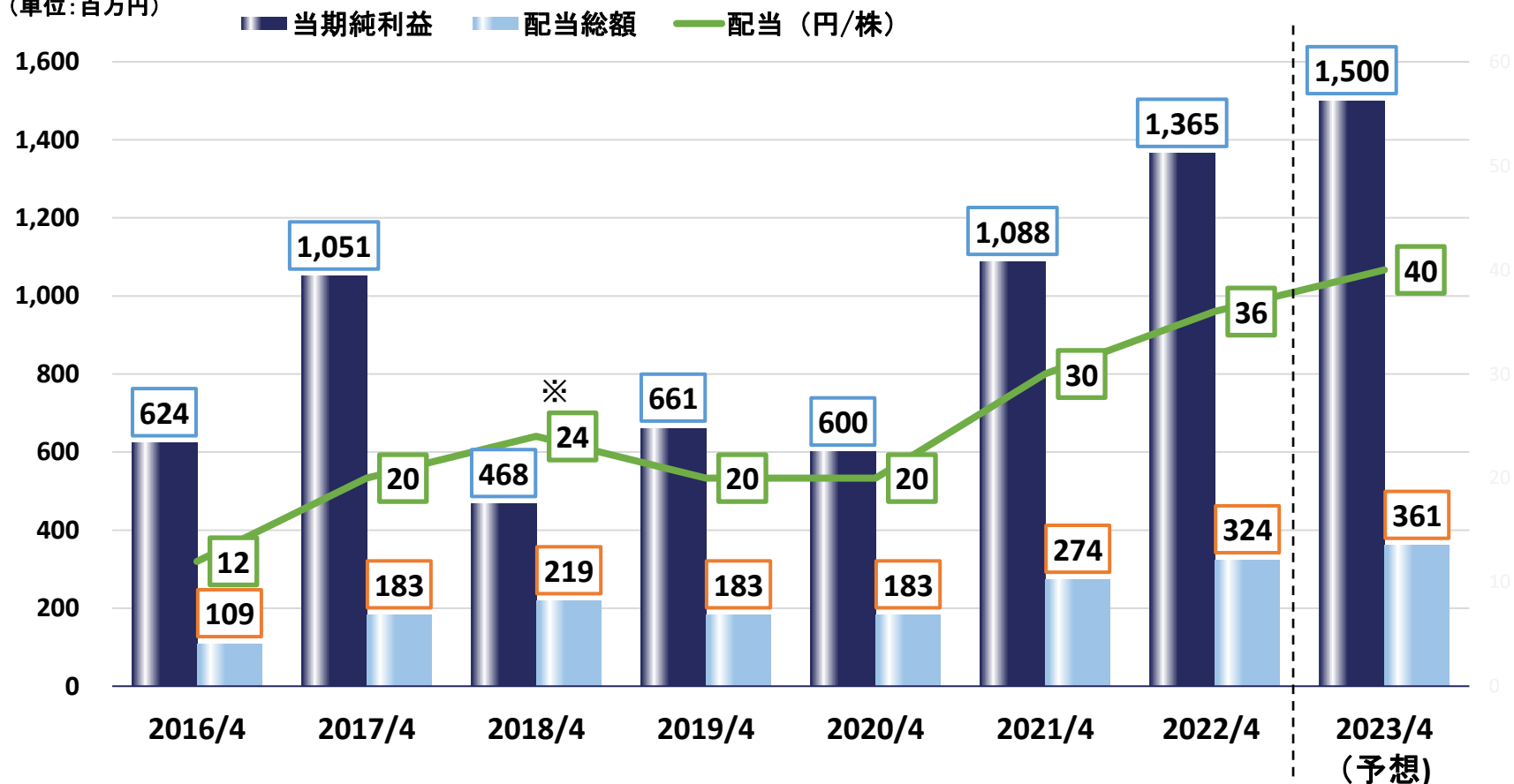
◆ 配当方針

- ・ 利益水準、配当性向及び内部留保（設備投資資金）の確保等を総合的勘案

◆ 配当予想

- ・ 2023年4月期は、年間配当40円を予想

（単位：百万円）



配当性向	17.6%	17.4%	46.9%	27.7%	30.5%	25.2%	23.9%	24.1%
------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------

※内4円は、創業100周年記念配当

V 補足資料



経営の基本方針

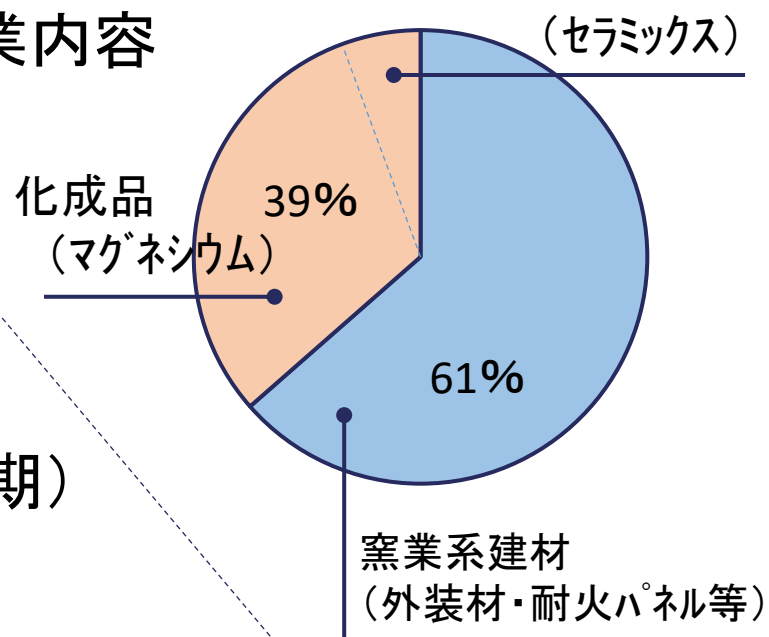
無機化学の可能性を追求し

**「顧客満足を第一に考え、
より広く深く社会に貢献していく」**

創業	1917年6月
設立	1946年3月
資本金	13億20百万円
従業員	620名
売上高	217億87百万円（2022年4月期）
代表者	代表取締役社長 池田和夫

事業内容

2022年4月期



V-1.当社について【沿革】

設立

1946年

1917年

創業 (株)神島硫酸製造所
(後の神島人造肥料(株))



1949年

炭酸マグネシウムの製造を開始

1957年

酸化マグネシウムの製造を開始

けい酸カルシウム板の製造を開始

1972年



押出法による
DRESSEの製造開始

1984年

1989年

科学技術庁無機材質研究所との共同研究で
YAGの合成に成功 製品化に着手



事業譲渡を受け、
ラムダ事業を開始

2015年

2006年

難燃水酸化マグネシウムの製造開始

2017年

創業 100周年



©2017 Kojima Chemical Co., Ltd.

テクニカルセンターの開設

2018年

2021年

セラミックス新工場完成



現在

V-1.当社について【拠点】



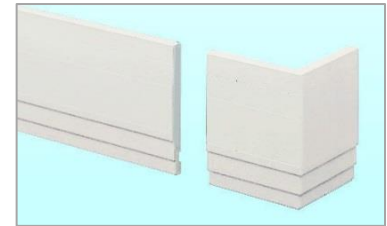
V-1.当社について【窯業系建材事業】

・住宅分野（外装）



不燃外部造作材（破風板）

寒冷地域の凍害にも強い「押出製法」の外部造作材
GOOD DESIGN AWARD 2015 受賞



不燃軒天ボード

木目柄、布目柄など多彩な
バリエーションの軒天ボード
GOOD DESIGN AWARD 2020 受賞



防火サイディング

18mm厚以上に特化した深彫りで本物志向の高級外壁材
職人の高齢化に対応した省施工「プレカット」対応



V-1.当社について【窯業系建材事業】

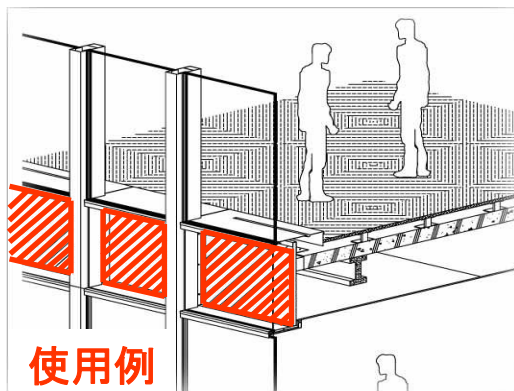
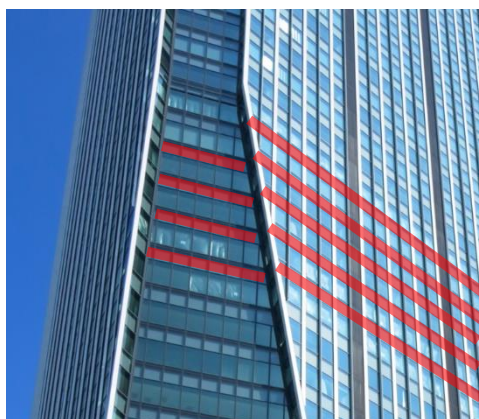
・非住宅分野(外装)

ソニックライトパネルNAS

- ・中・高層ビルのカーテンウォール工法分野でシェア独占
国内最大サイズのパネルを完全プレカット



虎ノ門ヒルズ



使用例

LAMBDA ラムダ

- ・高強度により、
最高31mの中高層の建物にも対応
- ・塗装によりメタリックやパールの光沢感、
コンクリートの風合



V-1.当社について【窯業系建材事業】

・非住宅分野(外装)



- ・あらゆる外観を美しく魅せ、リアルな質が評価され
様々な施設などでも活用されており、広がりを見せております



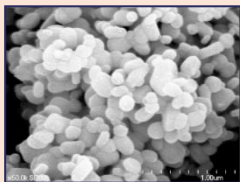
V-1.当社について【化成品事業-マグネシウム】

「海水法」により、「安価」で「安定供給」可能
粒子形状コントロール技術をマグネシウム化合物以外へ展開可能



使用用途例

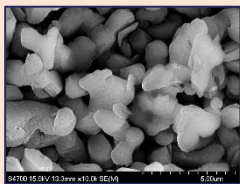
酸化マグネシウム (スターマグ)



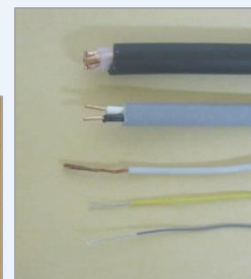
- ・プラスチック部品
- ・合成ゴム部品
- ・医薬用原薬、ミネラルサプリメント
- ・接着剤等



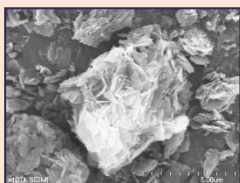
難燃水酸化マグネシウム (マグシーズ)



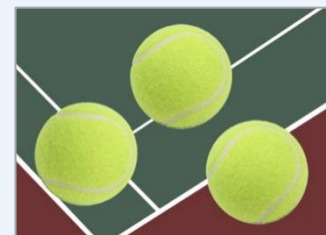
- ・エコ電線被覆材
- ・自動車・家電用電線被覆材等
- ・電子材料



炭酸マグネシウム

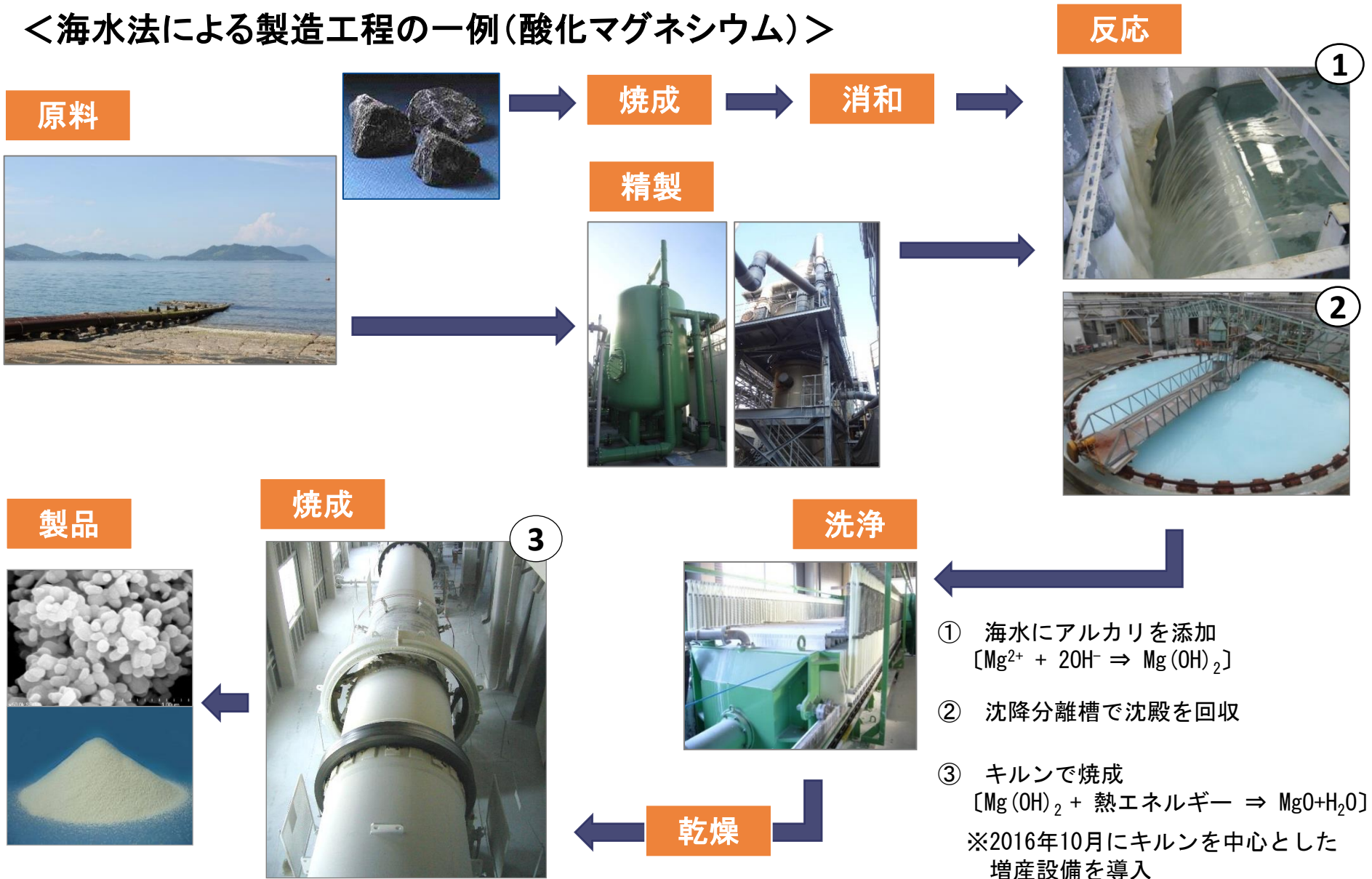


- ・天然ゴム製品
- ・プラスチック部品
- ・インク、飼料等



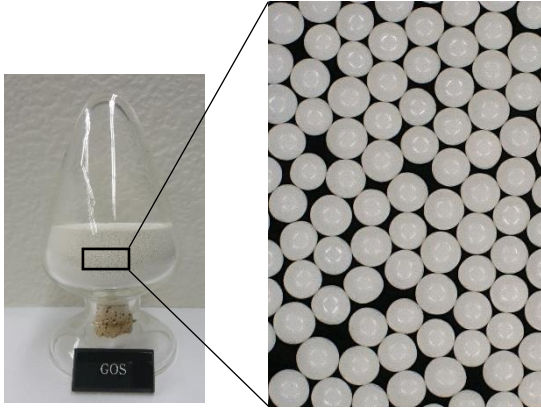
V-1.当社について【化成品事業-マグネシウム】

<海水法による製造工程の一例(酸化マグネシウム)>



V-1.当社について【化成品事業-セラミックス】

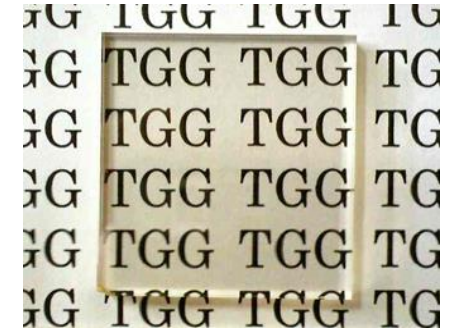
◆極低温冷凍機用



◆レーザー用



◆アイソレータ用

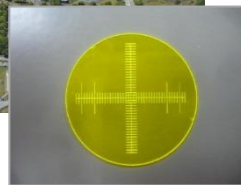


◆シンチレータ



大型放射光施設SPring-8

「国立研究開発法人理化学研究所」提供



◆蛍光体



V-1.当社について【化成品事業-セラミックス】

世界初「透明・大型セラミックス」の開発に成功

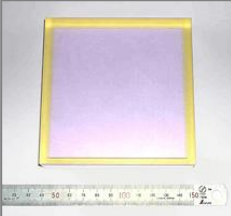
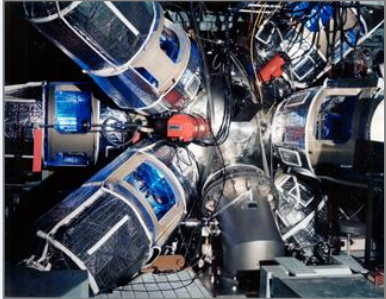
使用用途例

セラミックス

KONOSHIMA CHEMICAL CO. LTD.
 Nd:YAG ROD Nd:YAG SLAB Nd:YAG PLATE Nd:YAG DISK
 Yb:YAG ROD Yb:YAG SLAB Yb:YAG PLATE Yb:YAG DISK
 KONOSHIMA CHEMICAL CO. LTD.
 Nd:YAG ROD Nd:YAG SLAB Nd:YAG PLATE Nd:YAG DISK
 Yb:YAG ROD Yb:YAG SLAB Yb:YAG PLATE Yb:YAG DISK
 KONOSHIMA CHEMICAL CO. LTD.

レーザー加工機、レーザーセンサー、シンチレータなど

レーザー核融合発電（慣性核融合発電）
 レーザーで水素の核融合反応を起こさせて、
 エネルギーを取り出す発電システム
 この研究開発は、当社のYAGセラミックスを使用

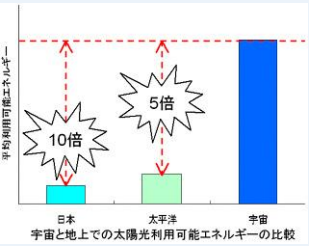
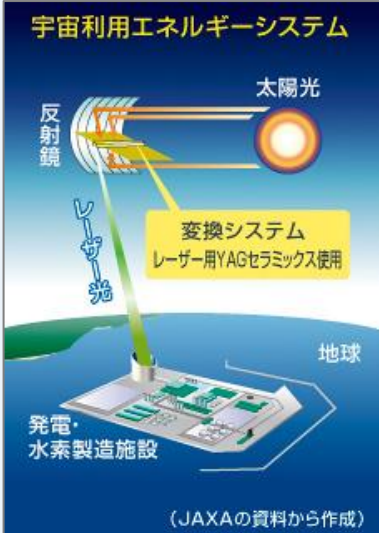


大出力レーザー用
大型YAGセラミックス



大阪大学 レザ-科学研究所 右：ターゲットチャンパー 左：ビームライン

宇宙太陽光利用システム（SSPS）
 ミラーで集光した太陽光でレーザー媒質を励起させて
 レーザー発振させる
 当社は、太陽光を効率よく励起させられるレーザー結晶の作製を、
 世界で初めて成功させた（YAGセラミックス一部使用）



V-1.当社について【化成品事業-セラミックス】

レーザー研究に関する動向

世界は超高出力(10PW)・高繰り返し(10Hz)へ
(セラミックスでしか到達できない領域へ)

世界の開発状況及び販売先

日本

大阪大学のレーザー科学研究所・東京大学のTACMIコンソーシアム・国内メーカー数社等が、国家プロジェクト（内閣府，NEDO，JST）で開発

アメリカ合衆国

Rochester大学やLawrence Livermore研究所で開発を進め、世界を牽引

EU（欧州連合）

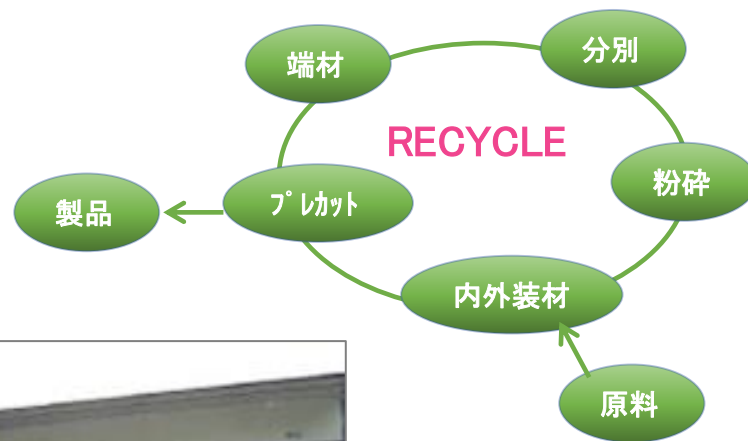
連合各国で資金を出し合い、HiLASEやELIと呼ばれる二大プロジェクトを展開
世界初の100J級セラミックレーザーを開発、大出力レーザー研究の牽引役となりつつある

研究内容

物理学・量子学（フォトン・プラズマ等）の解明、MRI、レーザー核融合発電等

地球の未来のために

神島化学ではECOで社会に貢献しています



建築現場での建材ゴミの軽減に

工場での建材プレカット化を推進しています
もちろん、カット端材は全てリサイクルしています



リサイクル原料の使用

神島化学の建材は3種類のリサイクル原料を使用しており、
その割合は50%にもなります

パレットのリサイクル使用

出荷したパレットは極力回収し、点検・補修を行った上で再使用しています



住宅のメンテナンス費用を削減する建築材料

高耐久建材製品の開発に力を入れて、メンテナンス費用と回数の削減に一役買っています

省エネ施工の建築材料

簡単取り付けの金具施工建材で建築現場での省エネに努めています





KONOSHIMA